

豊友会会報

大分市大字下郡496-38
大分県教育会館内
大分大学教育学部
同窓会「豊友会」
編集兼 江藤 郁
発行人
TEL 556-0145
bundai-hoyu@fuga.ocn.ne.jp
印刷所
(株)明文堂印刷
TEL 533-8800

つどい 語り つなごう 豊友会

令和7年度 豊友会評議員会

会長に江藤郁氏

副会長 藤井隼子氏

五月十七日(土) 大分県教育会館で、令和7年度豊友会総会が開催された。福岡、熊本、宮崎の各支部代表者の参加もあった。



開会に先立ち、「みんなが主役の学校」(玖珠町立くす若草小中学校(学びの多様化学校)の歩み)と題し、小原猛校長が講演を行った。今までの教育観の枠にこだわらない実践的な学び、学ぶことの楽しさを追求した取り組みを興味深く拝聴した。会議では、大分市鶴崎支部の阿部三四子支部長を議長に選出し、決算、事業計画などの重要議事の審議が滞りなく進められ全て承認された。

この度、「令和7年度豊友会評議員会」におきまして、秦政博前会長の後任として第十二代会長を仰せつかりました一九八一(昭和五十六)年卒業の江藤郁でございます。

また、今日、大学はか



同窓会の絆を今一度

豊友会 会長 江藤 郁

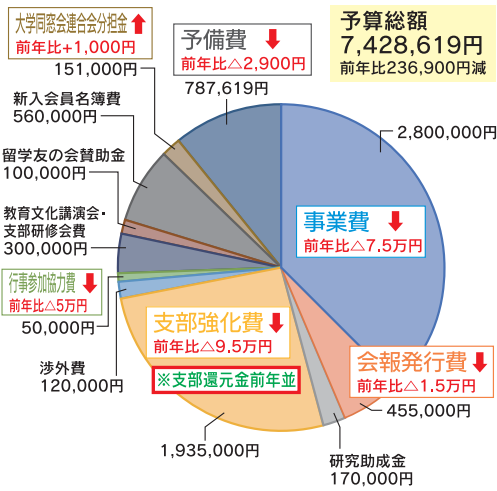
各界でご活躍の同窓生が多数おられる中で、私のような若輩では戸惑いもありますが、微力ながら会員並びに関係者の皆様のお力添えを賜りまして、本同窓会のさらなる発展のため精一杯務めてまいりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

つてないほどの変動と変革の渦中にありますが、母校は一貫して次代を担う人材育成に努め、令和六年三月卒業者の教員就職率(正規+臨時)及び正規教員就職率において五年連続全国一位となるなど、安定して全国トツ

す。一方で、豊友会の現状にはいくつかの課題があります。まず、同窓会の財政基盤の確立が急務となっております。現在、財政基盤が揺らいでおり、同窓会の活動を円滑に進めるた

も心を寄せるふるさどであり、同窓会の活性化のためには、若い方々の参加が必要です。今こそ、日本の教育を支えてきた母校への愛と会員の絆をさらに深くし、次の時代に向かって新しい歩みを進めてまいりま

令和7年度豊友会予算



当会に九年間にわたりご尽力をいただいた秦政博氏が退任された。後任に現大分市社会福祉協議会会長 江藤郁氏の就任が決定した。新体制は次のとおり

会長 江藤 郁(新)
副会長 藤井 隼子(新)
安東 憲治(再)
野依不二男(再)
佐藤 晋治(新)
(教育学部長)

活動の原点は支部活動ま
ず顔を合わせることから
昨今の風潮である社会
への連帯意識の希薄化が
新会員、退職会員の加入
を鈍らせている要因の一
つになっていきます。
とりもなおさず、当会
の会費収入による財源が

逼迫してきております。
数年来種々の事業費を節
減して対応していますが、
今のままでは、ここ数年
のうちに会費値上げにつ
いて何らかの方策を検討

③「私」を主語で伝える
「わたしメッセージ」に
ついて
これまでご紹介してき
た信頼関係づくりのコツ
①人はみんな違うことを
知る

②相手の話を聞く
に続き、最終回の今回は
③「私」を主語で伝える
「わたしメッセージ」に
ついてお話しします。

「わたしメッセージ」
とは、その名の通り「私」
を主語にした伝え方です。
一見、日常的に「私」
を使って話しているよう
に思えるかもしれませんが
が、特に怒りや不満の感
情が強いとき、私たちは
無意識に「あなた」を主
語にした言葉を使いがち
です。

たとえば
・「早く食べなさい!」
・「靴下を片づけなさい!」
・「だらしないね」
これらはすべて「あなた
メッセージ」です。

言葉の上で怒りの感情
が乗ると、相手には「非
難」や「攻撃」として受
け取られてしまい、真意
が伝わらず、関係に溝が
生まれることもあります
そんな時こそ、「私」を
主語にしたメッセージが
有効です。

たとえば
*「早く食べないと、せ
つかく温かくしたのに冷

ヒューマンリレーション 3 ~大切な人と信頼関係を築くコツ~

親業訓練シニアインストラクター
日本エニアグラム学会 副理事長 内田 智代



シリーズ

が生徒と信頼関係を築く
ためのコミュニケーション
方法を学びます。

ある先生は、授業中私
語が多い生徒に対し、以
前は「うるさい!」「静
かにしなさい!」と怒鳴
っていましたが、「教師

して行く必要があります。
明治二十七年の発足以
来県内外の教育界の礎を
築いてきた豊友会。この
歩みのうねりを、活動の
原点である支部活動の取

めてしまつて残念だよ」
*「靴下を片づけなさいと
掃除機で吸ってしまいそ
うで困るな」
この「残念だ」「困る」
「悲しい」「嬉しい」と
いった言葉が、自分の感
情に私の気持ちを伝える
「わたしメッセージ」な
のです。

「わたしメッセージ」に
は、
・今、自
分がどう
感じてい
るか
・その行
動によつ
て自分に
どんな影
響がある
のか
が含まれ
ており、
相手に状
況をより
明確に伝
えること
ができま
す。

「教師
学」とい
う講座で
は、教師
が生徒と
信頼関係
を築くた
めのコミ
ュニケー
ション法
を学びま
す。

「わたしメッセージ」
は、相手に伝えるものでは
なく、相手と共に良好
い関係を築こうとする姿
勢の表れでもあります。
私たちは、それぞれ価
値観も感じ方も違う人間
同士。

そんな中で、自分の思
いを伝え、相手の思いを
聞く――この一見シンプ
ルで、でも実はとても難
しいコミュニケーション
の積み重ねこそが、信頼
関係を築くカギです。

そしてそれは、人とし
ての成長にもつながりま
す。

組みをすすめることから
巻き起こしていきましよ
う。まず顔を合わせ(つ
どい)談義(語り)し次
回や次世代につなげてい
こうではありませんか。

「授業中に話し声が聞
こえると、授業を進める
のに集中できず、本当に
辛くなるんだ」
この「わたしメッセー
ジ」を聞いた生徒たちは
驚き、「すみません」と
言つて、私語をやめたそ
うです。

先生は「のどがカラカ
ラになるくらい勇気が必
要だった」と語りますが、
自分の気持ちを伝えたこ
とで、生徒たちの行動が
変わりました。

生徒にとって、大切に
思ってくれる先生が「辛
い」と感じていることを
知ること、
・「じゃあ、
静かにしよう」と思いや
りの気持ちが生み出した
のです。

「わたしメッセージ」
は、相手を責めるのでは
なく、相手と共に良好
い関係を築こうとする姿
勢の表れでもあります。
私たちは、それぞれ価
値観も感じ方も違う人間
同士。

そんな中で、自分の思
いを伝え、相手の思いを
聞く――この一見シンプ
ルで、でも実はとても難
しいコミュニケーション
の積み重ねこそが、信頼
関係を築くカギです。

そしてそれは、人とし
ての成長にもつながりま
す。

祝卒業

令和七年
三月卒業

教育学部
初等中等教育
コース



磯本 晟羽

大学での一番の思い出は、四年生最後の春休みにたくさん旅行に出かけたことです。念願だった一人旅や、仲間たちとの全国各地への旅行では、グルメや景色を満喫し、ホテルで熱く語り合うなど、最高の時間を過ごしました。今はお互い離れ

た場所で働いていますが、定期的に連絡を取り合っています。

現在は、小さな小学校で八人の二年生を担当しています。丸つけや宿題の確認はすぐ終わり、一人ひとりにしっかりと向き合えますが、全教科を基本的に一人で教える必要はないので大変なこととあります。隣に同じ教科を教える先生がいないため不安もあります。しかし、同じ学校の先生方が親身になってくださっています。歳の近い先生方がいつも気をかけてくださり、ベテランの先生方からは授業のアイデ

教育学部
初等中等教育
コース



矢田部 颯介

私は大分大学で多くの経験をし、現在は大分県で教員として働いています。中でも心に残っている思い出を二つ紹介します。

一つ目は、教育学部英語科の同期との交流です。十八人中六人しか男子がいなかったため特に仲が



深まり、今でも連絡を取り合っています。三年生での教育実習後、居酒屋で朝まで語り合ったことは忘れられない思い出です。

二つ目は、部活の仲間と日帰りで鳥取砂丘に行ったことです。朝7時に出発し、夕方に砂丘に着、夜通し車を走らせ翌



アやアドバイスをいただいたりたくさんの方に支えていただけて働くことができています。子どもたちと笑い合える毎日、今とても幸せに感じています。



朝に戻るといふなんとも過酷なスケジュールでした。即決し、出発した旅けない一言で私の日帰り旅行の概念が変わりました。

私の大学生活四年間で経験したすべては今の教員生活に生きていると実感しています。

祝入学

令和七年
四月入学

教育学部
初等中等教育
コース



川地 彩月

私はこの春から大分大学に入り、やりたいことが大きく分けて三つあります。

一つ目は、友達をつくり、交友関係を深めることです。高校時代の友達とは別に、大学でも友達を作り一生の友達と呼べるような関係になりたい

教育学部
初等中等教育
コース



首藤 啓太

大分大学に入学してからもう三ヶ月です。私が教育学部を志望した理由は、常に児童のそばに立ち、一人ひとりの心に寄り添える小学校教員になるためです。大分大学は

全国一位の就職採用実績があることに加えて、メンタリング・コーチング

です。

二つ目は、社会に出たときに役立つ知識や常識を身につけることです。

私はすべての物事において知識が浅く、常識も全くと云っていいほど身につけていません。そのため、大学の授業や生活、人との関わりの中で、そのような知識や常識を身につけておきたいです。

三つ目は、幅広い経験を培うことです。大学は高校と比べ自由度が高くアルバイトや旅行も個人で行くことができるため、全国のみでなく色々な場所を訪れ、想像だけでなく体験をしたいです。それを通じ世界と日本を



結びつけ多角的な考え方を自然と行えるようになりたいです。私は大学での四年間を通じて、これら三つのことを実行し、学問を修め卒業し、子どもたちに誇れるような教員になりたいと考えます。

の関わり方なども学びたいと考えています。大学生活を充実したものとするために、健康的な食事や適度な運動をし、楽しい大学生活を送り、挑戦する心を忘れずにこれらの四年間を歩んでいこうと思います。





PRINCE NISSAN 西大分店

〒870-0003 大分市生石4丁目1番20号

TEL : 097-533-1111

幹事さんのお手伝いをいたします!

還暦同窓会・支部会

部活動OB・OG会

同窓会

同窓会を開こう!

同窓会プラスプラス

同窓会についてのお問合せ

ドローン空撮のお問合せ

同窓会支援事業部

WEBツールを使って受付楽々!

ドローン空撮も承ります!

4K品質 スチル・動画

ドローン空撮

小野高速印刷 株式会社

詳しくはこちら!

TEL.097-556-4141

<https://www.ohp.co.jp>

キャンパスライフ

共催事業・温補講習会は豊友会の助成事業



共催事業報告

「大分の国語教育を語り合う集い」

大分大学教育学部教授
花坂 歩

令和7年2月1日、J・COMホルトホール内のサテライトキャンパスにおいた・講義室にて「大分の国語教育を語り合う集い」を開催いたしました。

この集いは、国語小講座の卒業生から、「学びと再会、奮起の場」を設けてほしいという要望を受け、国語小講座が計画・開催したものです。当日は、私による「基調講演」(演題「国語科教育の現状と近年の私の到達点」)の他、現職教諭三名による「話題提供」、外部講師による「記念講演」の三部構成で学びと親睦を深めました。

「話題提供」では、小学校教諭の松本祥平さん、中学校教諭の後藤大治さん、高等学校教諭の太田圭祐さんにご発表いただきました。お三方とも本学部の卒業生です。松本さんは、「より良い学習会を目指して」という演題で、小学校特別活動のご実践を報告してくださいました。続く中学校教諭の後藤さんは、初任校での経験を国語科教育に対する思いとともにお話してくださいました。高等学校教諭の太田さんは、「話し合う力の育成を目指した授業の実践」という演題で、対話アセスメント指標である「5ライ



ズ」を活用した授業実践を報告してくださいました。どのご発表にも熱がこもっており、頼もしく思いながら拝聴していただきました。

最後は、大分で活躍するフリーリポーター・岩崎朋美さんによる「記念講演」によって学びをさらに深めました。岩崎さんはコーチングのプロ資格をお持ちです。講演ではコーチングの定義、流れポイントをわかりやすく教えていただきました。また、あいづちだけで相手とコミュニケーションを交わすという演習もございまして、会場は活気づき、楽しく学び合う姿にあふれていました。

国語小講座の教員を含め、計25名の参加者が再会を喜び、明日からの奮起を誓い合いました。遠くは島根県からの参加もありました。大いに学び、大いに笑い、大いに喜び合うひとときを過ごせました。これも豊友会様のご支援のおかげです。心より御礼申し上げます。



温補講習会

「藤井弘也学部長退職記念講演会」

大分大学教育学部教授
大上 和敏

令和7年3月15日、大分大学教育学部100号教室において、藤井先生の最終講義が開催されました。講義題目は「理科好き児童の育て方」で、当日は本学教職員をはじめ、教育学部物理同窓会、大分県教育委員会、大分市教育委員会などから120名を超える参加者が集まり、藤井先生の長年のご功績を称える温かな雰囲気になりました。

講義では、藤井先生がこれまで取り組んでこられた理科教育・物理教育の実践と研究をもとに、子どもたちが理科に興味を持つための工夫や視点について、演示実験を交えながら具体的に紹介されました。児童や生徒の「なぜ?」「どうして?」という素朴な疑問を大切に、その疑問を出発点として学びを深める指導の在り方が丁寧に語られ、参加者一同、深い感銘を受けました。最後に、理科教育を担う若い教員への期待と激励の言葉が述べられ、会場は大きな拍手に包まれました。藤井

先生の長年にわたるご尽力と功績に、心より感謝申し上げます。



温補講習会

技術講座

大分大学教育学部講師
杉山 昇太郎

令和7年3月8日(土)の午後、技術講座の一環として「温補講習会」が教育学部技術科演習室で開催された。本講習会では、本学卒業生で現在小学校と中学校で教鞭を執る現職教諭二名を講師に迎え、学生八名と教員二名が参加した。座談会形式で進められ、学生たちは普段から抱えている疑問や不安を自由に質問することができた。質問内容は、「初任者研修の具体的な内容や心構え」、「生徒指導や保護者対応



の工夫」、「授業づくりのポイント」、「校務分掌の役割と実務」、「部活動指導への関わり方」など多岐にわたり、それぞれの質問に講師は自らの教育現場での経験や具体的な事例を交えて丁寧に答えた。講師の話からは、初任者研修での戸惑いや工夫、日々の授業改善のための具体的な取組など、現場ならではのリアルな声が伝わった。終盤には、教員として働くことのやりがいや意義、学生のうちに積極的に経験しておくべきことについて熱意あふれるメッセージが語られ、参加学生にとって将来の進路選択や自己形成を考える貴重な機会となった。講習会は単なる情報提供の場にとどまらず、教育現場の実態を身近に感じられる貴重な機会であると同時に、卒業生と大学とのつながりを強める大切な交流の場としての役割も果たしていると考えられる。

就職戦線近況

5年連続で教員就職率全国1位に!

教育学部 就職・進路委員長
花坂 歩

今年度から、就職・進路委員長になりました花坂です。よろしくお願いたします。

まず、令和6年度(令和7年3月卒業)の就職進路決定状況をお知らせします。詳細は別表をご覧ください。ですが、おかげさまで卒業予定者129名の全員が巣立っていきましました。教員採用試験の合格実績についても、5年連続の全国1位です。おかげさまで、本学部は安定して全国トップクラスの教員就職率を維持できています。

4月から本学部の就職支援に中心的に携わって理解を深めたのですが、本学部の就職支援プログラムは、「シンプル」なことを「重層的・長期的・多角的」に組み合わせることで実現しています。

指導ではなく、模擬授業指導と面接指導、願書添削を中心に教員全員出動で何度も指導します。就職・進路委員会の他にも、教師育成サポート推進室や「大分の教員育成プログラム」というの

令和7年3月卒業生の就職進路決定状況

卒業 者数	学校教員 (保育教諭含む)	臨時 学校教員	民間 企業	(公務員 (保育士含む))	臨時 公務員	自 営 業	大 学 院
129	101	5	7	8	1	1	6

令和6年3月卒業生の大学別教員就職状況 (教員養成課程) 上位5大学

卒業生に対する教員就職率(正規+臨時)※1		卒業生に対する正規教員就職率 ※2	
1	大 分 (78.3%)	1	大 分 (67.4%)
2	福岡教育 (77.5%)	2	佐 賀 (63.5%)
3	上越教育 (74.1%)	3	上越教育 (63.3%)
4	佐 賀 (73.9%)	4	福岡教育 (62.0%)
5	鳴門教育 (72.7%)	5	長 崎 (58.4%)

※1 文部科学省「令和6年3月国立教員養成学部卒業生の教員就職状況」より
※2 令和7年3月の報告は令和8年の年末頃に発表の見込み
※3 文部科学省「令和6年3月国立教員養成学部卒業生の教員就職状況」より算出

私の学校

地域とともにある

学校を目指して



宇佐市立四日市南小学校

校長 上田 積

(平成3年卒)

二 経営方針

一 はじめに
大分県を代表する観光地「宇佐神宮」は、全国に約四万ある八幡社の総本山であり、神仏習合発祥の地としても有名です。今年「宇佐神宮御鎮座一三〇〇年」の年にあたり、宇佐市内で関連イベントもたくさん開催されます。

二 経営方針
学校教育目標「自ら考え判断し、互いに高め合う児童の育成」スローガン「みがけ『あいさつ』なかよくあそび みんなでかんがえる南っ子」を目指して教育活動を行っています。

三 学校の取組

①児童会の取組
「いいところみつけ」全校で取り組む「いいところみつけカード」は、子どもたちの中で定着し、毎日多くの子どもたちが「友だちからしてもらってうれしかったこと」や「友だちのよい行い」をカードに書き、児童会が昼の放送で紹介しています。友だちのさりげない行動に気づく、そして感謝の気持ちを持つこの取り組みは、南小の伝統としてずっと続いていくことを願っています。

②体力アップの取組
本校では、体育部を中心に、体力向上・健康づく



本願寺別院

また、誰にでもあいさつができる南っ子を目指して、「あいさつ運動」をずっと続けています。



あいさつ運動



四日市人形絵付け体験

くり力を入れていきます。「体力アップ大作戦」校舎の一角に「握力コーナー」を設置し、いつでもハンドグリップを児童が使えるようにしたり、休み時間に体育館を開放して、跳び箱や立ち幅跳びの練習ができるようにし、異学年で教え合ったり協力して片付けたりする姿が見られます。

「やわらか名人」
学校だけでなく家庭でも短時間でできるストレッチ運動を行う期間を設定し、保護者と連携して子どもたちの健康づくりに関わってもらっています。

③地域を学ぶ活動
子どもたちは毎年、地域の方々からさまざまなことを学んでいます。低学年は校区探検、商店街

おめでとございます

令和六年度

◎文部科学大臣表彰

山元 一哉 (昭和62年卒) 大分市

上杉 洋一 (昭和62年卒) 大分市

三浦 一雄 (平成元年卒) 大分市

令和七年度

◎瑞宝小綬章

高橋 泰夫 (昭和44年卒) 大分市

◎瑞宝双光章

岡本美枝子 (昭和52年卒) 大分市

牧 弘志 (昭和53年卒) 大分市

一 学校の概要

本校は、日本最大規模の私塾「咸宜園」を開いた廣瀬淡窓先生の教育理念を継承し、校名は「桂林」からつけられました。先生の教えをベースとして、学校教育目標「こころゆたかにかしこくたくましく」のもと、柔らかな感性をもち、仲間と協同し、自ら生活を向上させようとする児童の育成をめざしています。

保護者も含め、地域の方々は、学校教育活動に対してとても協力的です。



廣瀬淡窓先生の像

四 おわりに
本校は市内では比較的儿童数の多い学校ですが、少子化により児童数は減少しています。子どもたちを取り巻く状況も様々ですが、そのような中でも確かな絆で結ばれた地域とともにある学校をめざし、教職員一丸となつて子どもたちの力を伸ばしていこうと考えます。

二 桂林マイ

ンド
本校には、「桂林マインド」というものがあります。生活の基本的行動様式の土台をつくる実践目標です。

「〇月の生活目標」のように重点期間を決めて集中的に取り組むものではなく、年間を通して子どもたちに常に意識させ身につけさせていこうとするものです。

(桂林マインド四項目)

○自分から元気にあいさつ

○思いやりのある言葉と行動

○身のまわりをきれいに

○静かにききびき行動

三 「あこがれ」の行動

の推進
小学校六年間の子どもの成長の過程で大事にしたのは、どの学年の児童もその学年相応の目標をもち行動できる子をはぐくむことです。

それが身についていくと、自然に下級生が上級生に対して「あんな高学年になりたい」と「あこがれ」を抱

私の学校

こころゆたかに
かしこく たくましく



日田市立桂林小学校

校長 加藤 慶一 (平成3年卒)

○学習サポーター
五・六年生の家庭科では、二十名近くの方々が

自治会長を中心として、地域にある文化財等のG Tとして授業に来校していただいています。



ミシンサポーターのていねいな補助

四 「笑顔いっぱい」の桂林小学校区

本校の学校運営協議会は、自治会長や公民館長をはじめ地域で活躍されている方々と育友会役員の十一名で構成されています。活動のスローガンは、「地域とともにある学校づくり」笑顔いっぱい桂林小学校区です。

委員の方々は大変意欲的で、学校運営に積極的に関わっています。

五 おわりに

地域の方々は、「子どもたちの手助けと思って来たけど、逆に元気をもたらした！笑顔になった！」と必ず言うてくださいます。子どもたちは、地域にとっても愛され応援されていると感じています。同時に、子どもたちが地域を笑顔にしていると感じています。

これからも、応援され愛される子どもたちであるように、学びをしっかりと支えていきたいと思っています。



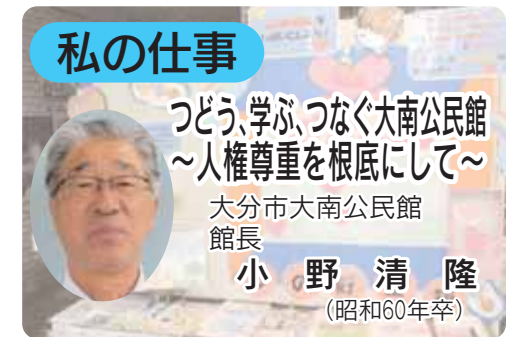
消防団による放水の実現

「ミシンサポーター」調理実習サポーターとして協力してください。大変丁寧に教えてください、子どもたちも大喜びです。

職場では

大分市大南公民館は、大分市南部に位置する大南地区(判田、竹中、吉野、戸次)にあり、昭和二十九年設立で七十年の古希を過ぎました。沿革史によると、設立当時は、戸次中学校の講堂にあり、校長が公民館長を兼任していました。

ロビーをはじめ、館内のあちこちには、人権に関するポスターや啓発物を貼ってあります。また、地域に出かけての人権啓発も行っており、大南地区あちこちで人権尊重の「まちづくり」を進めています。



公民館を利用する子どもたちに対して、挨拶をしたり、「今日の学校生活はどうだった?」などと声をかけたりして、つながりを

生み出しています。そうすることで、一人一人を大事にした運営ができるのではないかと考えたところです。また、「公民館だより」の発行によつて、大南公民館の運営に関するこ

とを知っていただいています。

「私の仕事」とは、

「館長の仕事」となるのですが、こう言っ

は他人事のようにですが、館長としての仕事は、それほど多くはなく、それよりも八名いる職員の方

が確認され、県内に一定のニーズがあることが明らかになりました。その上で、令和6年3月の総合教育会議において「大分県にも夜間中学が必要」となり、大分県において夜間中学の設置を正式に決定しました。

大分県立夜間中学は、令和8年4月、県立爽風館高校内に開校予定です。入学対象者は、大分県内に居住している学齢期を過ぎた満15歳以上で、中学校を卒業していない方

である卒業生は、様々な事情により十分な教育を受けられなかった方です。国籍は問いません。第1学年4月の入学を基本としますが、入学希望者の事情や学習状況

公民館の運営は、全員によって出来るものだと考えるようにしています。一人一人が「人権尊重」の考えを基にした仕事を成せば、私自身の考える運営となっていくと考えています。決して独りよがりではなく、今年度は、子どもたちの体験活動の一つ加え

ました。昨今、子どもたちの体験活動が減ってきていると感じたからです。人々の活動は、どうも机に付いての学習(または仕事)が中心となつてい

るようです。汗を流したり自分以外の人と協力したりする活動で十分に学習(仕事)してもらいた

いのです。自然豊かな大南地区において、どのような活動になるか、今から楽しみにしています。

等々を踏まえ、校長の判断により、年間を通じた入学や、第2学年または第3学年からの入学も可能としていきます。

大分市の小学校を退職し、公立幼稚園でのお仕事をいただきました。これまでとは違う世界だ、とわくわくしました。

四歳児、五歳児との生活は新鮮でした。やってみたいことに挑戦し、遊びに没頭する子どもたち

に寄り添い、環境を整える職員。幼児教育の大切さと素晴らしさを知りました。「遊びは学び」子どもたちが遊びを広げ、

深め、成長していく姿に感動しました。やりたいことをやってみる、人生で最高に幸せな時間を過ごしていることもたちだ

なあと感じました。残念ながらこの公立幼稚園は閉園。二年間の勤務でした。幼稚園がなくなつていくというのはと

ても寂しいものでした。そんな折、現在の園に勤務するチャンス頂きました。まだまだ園児教育に関われるといううれ

しさで、迷わず勤務することにしました。

しかし、幼稚園とは違い、こども園は朝から夕方、夜まで子どもたちがいます。勤務時間中は子どもと子どもが

いるという大変さを知りました。四十人近い職員がいろんなシフトで出勤するので誰が今いるのか、最初は戸惑うこともあり

ました。〇〇先生はどこに話をするというのでも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

私の仕事

子どもたちと共に



高田のぞみこども園 園長 田中 紀久美 (昭和58年卒)

かなと園内一周探した後でお休みだったと気づくこともありました。平日お休みをとることも気兼ねなくできます。

いつもそばに子どもたちがいるので、職員全員で会議や研修は難しいです。職員会議は同じ内容で二回行い、交替で参加してもらいます。

同じように話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

です。家庭と話を二回するというのも結構難しいものです。子どもたちは、一日の中で長い時間、園で生活するので、園の存在は大きい

一緒に子育てをしているという責任の重さを感じます。0歳児クラスでは、「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

「お座りができるように」「お座りができるように」「お座りができるように」

教育情報



いつからでも学び直せる夜間中学の開校に向けて、大分県立夜間中学令和8年4月開校、大分県教育庁義務教育課夜間中学校準備班 指導主事 小野 晃寛(平成14年卒)

大分県教育委員会は、令和7年度から令和15年度までの9年間を対象とする長期教育計画「『教育県大分』創造プラン2025」を策定しました。この計画では、障がいのある無、年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などの違いに関係なく、すべての県民が生き生きとした人生を享受できる「誰一人取り残されない共生社会」の実現を目指しています。

大分県では令和5年度に6会場で開催された31名から学び直しを望む声を集めているのが「夜間中学」です。国も、義務教育機会確保法(平成28年公布)において、地方公共団体に夜間等の授業の提供を求めています。

令和5年6月閣議決定)では、令和9年度末までに夜間中学を全国すべての都道府県と指定都市に設置することを目標としています。

大分県では令和5年度に6会場で開催された31名から学び直しを望む声を集めているのが「夜間中学」です。国も、義務教育機会確保法(平成28年公布)において、地方公共団体に夜間等の授業の提供を求めています。

大分県では令和5年度に6会場で開催された31名から学び直しを望む声を集めているのが「夜間中学」です。国も、義務教育機会確保法(平成28年公布)において、地方公共団体に夜間等の授業の提供を求めています。

大分県では令和5年度に6会場で開催された31名から学び直しを望む声を集めているのが「夜間中学」です。国も、義務教育機会確保法(平成28年公布)において、地方公共団体に夜間等の授業の提供を求めています。

大分県では令和5年度に6会場で開催された31名から学び直しを望む声を集めているのが「夜間中学」です。国も、義務教育機会確保法(平成28年公布)において、地方公共団体に夜間等の授業の提供を求めています。

大分県では令和5年度に6会場で開催された31名から学び直しを望む声を集めているのが「夜間中学」です。国も、義務教育機会確保法(平成28年公布)において、地方公共団体に夜間等の授業の提供を求めています。

夜間中学入学相談会(14時~18時)	
7月22日(火)	日田市複合文化施設AOSE
7月26日(土)	ゆめタウン別府
7月31日(木)	さいき城山桜ホール
8月16日(土)	大分駅前広場
8月17日(日)	大分駅前広場
※10時~14時	
8月19日(火)	エイトピアおおの
8月23日(土)	イオンモール三光

校名については、県内各地から365件の応募が寄せられ、夜間中学への期待の大きさを感

お逢着者!

足立正典 氏 82歳

竹田市大字吉田(昭和41年卒)



訪問者

竹田市支部 事務局長

佐藤 一彦 (昭和57年卒)



竹田市支部の先輩、足立正典先生を紹介します。

どのような子ども時代を過ごされましたか。

小一の六月の田植えの日、家から田植え場所に茶の入ったヤカンを運ぶ途中で転び、お茶をだめにしてしまいました。落ち着きがないからと母に叱られました。

づらくなりました。近くの針灸医の「小児まひかも」という言葉に両親は驚きと心配を隠せませんでした。私は当時まだ小児まひの怖さを知りませんでした。地元の内科医を受診すると「脚気」ということで家族は少し安心したようでした。症状は、立って歩くことができず室内を両手両膝で這って移動しなければならぬ状態が続きました。医者には背負われるか自転車に乗せてもらい、暫く通院しました。その年は、七月の途中から十月中旬まで学校は休みました。そういうことで少年時代はあまり良い思い出はありません。

教員になってから、特に心に残っている思い出をお聞かせください。

私の初任地は、蒲江町立下入津中学校でした。昭和四十一年四月赴任。当時、下入津中学校は、二級へき地校でしたが、各学年二クラスあり全校生徒数は二百名を越えていました。現在の各地の児童・生徒数減の状況と



廃校前の下入津中学校

比較して、いかに少子化・過疎化が進んだことかと改めて驚くところです。私の所有免許は数学でしたが、校内職員事情によって、数学より英語を多く担当しました。英語の仮免許申請をして、全学年の英語を担当することになりました。制度上仮免教科のみの指導はできないとかで、所有免許の数学も一部担当しました。結局、週の時数は計二十九時間でした。学級は担任しなかったもので、道徳・学級指導の時間はなかったけど、週二十時間前後が普通だったことからすると厳しかったです。私の指導によって、子どもたちに不利益な状況

を与えてはいけないと思いい、英語指導には、努力しました。次年度は英語科免許所有者が赴任し、私の英語科担当は一年で終了しました。当時の高校受験英語の力は付いた(?)と思いますが、二年生の修学旅行の引率についたとき、今の「うみたまご」で外国人旅行者に会い、「先生何か話してみて。」と言われて、どっきりしました。

およそ二十年後、県の教育研究集会で当時の生徒に出会い「先生、今日は英語部会ですか?」と声を掛けられ、「実は数学が主だったんだよ。」と話した次第です。

勤務地は、出身の大野郡からも遠く、盆と正月に帰るだけで、日曜も夏休みも部活(卓球)指導をしていました。地域は真珠養殖が盛んな時代で、経済的に余裕のある家庭が多かったようです。教科指導、部活指導、生徒指導等の基礎を学んだ四年間を過ごしました。定年退職した四月五日、懐かしさと無事勤め上げたという報告の気持ちで、初任校跡地に立ちました。

退職されてから、どのようなことに取り組みされましたか。

竹細工、囲碁、写真撮影、野菜作り等に取り組みしました。竹細工の師匠は、残念ながら故人となられましたが、大学および教員の大先輩でした。週一回のペースで習いました。材料の真竹を選



真玉海岸の夕日

び、切って割って、これを「ヒゴ」という編む前の状態に削ります。このヒゴの出来上がりの良し悪しが、作品の良し悪しに大きく影響します。写真の方は、インターネットでの写真講座を受けました。

「標準レンズ↓広角レンズ↓RAW現像レタッ

チ」の三講座は、作品を提出して講評をいただくのみで、不合格という評価はなく進めました。しかし構図に関する講座に入ると、講師の先生も前は違う方です。「三分割構図↓前ボケ↓ローアングル↓ハイアングル」の四講座では、それぞれが一段階の①、②、③、二段階の①、②、③の計六段階あり、それぞれの提出作品が「合格」の評価を受けないと次へ進めないものでした。提出写真撮りに、別府湾、真玉海岸、臼杵城、阿蘇大観峰、高森などへ出かけたものです。



鍋ヶ滝(熊本県小国町)

勤時間の減少につながりません。指導内容の量の多さ、程度の高さを改善すべきだと思います。現状は、指導時間の確保が優先され、子どもも教職員も、「立ち止まり、迷いや疑問点を討論し、試してみよう」とこんな時間が取れたらよいのと思っていますが、その余裕がないようです。「人生百年時代、そんなに急いで、どこへ行く?」と言いたいです。

何事にも情熱を持って取り組まれている先生のお話に感銘を受けました。今後ますますお元気で活躍されますことを願っております。ありがとうございました。

エッセイ

壺中の独言「コメの話」



大分市明礪町

秦

政博

(昭和39年卒)

約3千年前近くの縄文時代晩期に、大陸から伝わった稲作が各地に広がって日本の国造りと文化の基底になったことは常識の範囲。先人は、「稲は命の根となり」(藻塩草)といい、また「いねとは、いつくしき苗」(日本釈名)とも呼んでい

は59年。コメ不足に遭遇して、たまたま外国米の緊急輸入。お陰で?小宅ではタイ米の味を覚えたのだらう。農村を担う若い農業者の減少の故に、じいちゃん・ばあちゃん・かあちゃん「三ちゃん農業」と揶揄された農業従事者の変貌、作付面積の縮小、農地の荒廃など理由は様々だが、減反農家への金縛りと引き換えに、「日本の主食を作るな」というのでは、農村が衰退するのは当然であらう。これらに起因す

る連鎖的な農業不振に重い腰を上げたのはつい最近、平成30年にやっと制度廃止になったことは記憶に新しい。実は今日のコメ不足もそうした連鎖のもたらした結果である。耕地面積の歴史を見ると、戦国頃までは約68万ha、江戸の中ごろには301万ha。戦国時代以来、とりわけ江戸時代には水路の開削が非常な勢いで進められ、干拓地が造成されるなどして山奥から海辺まで農地にされた。郷土では宇佐平野を潤す広瀬井路、お初伝説で知られる大分の初瀬井路など、列挙にいとまないほど井路建設が進められた。水を引き「一粒万倍」のコメを得るための、先賢たちの粒粒辛苦の足跡は今も健在で役割を努めて

いる。しかし、現況は厳しさを増している。田の面積では、令和4年は235万2000haで前年より減少、同5年はさらに233万5000haと、まさに田圃自体の先細りの状況が続く。日本の食糧備蓄はたったの1ヵ月ほど、食料自給率は38%でしかない。年約1兆円でコメ備蓄を今より5倍に増やせるらしい(毎日新聞、鈴木宣弘東大特任教授)。それに向けたコメ政策が何としても必要だ。暑気と水とで日一日、稲株が伸長するこの時期、夏のような暑気に我々も水が欲しい。でも、本音を言えば、「青い田の露を肴や一人酒」(一茶)。諸君もそうかな?



これまでをふり返って



大分市植田支部

安 東 房 吉

(昭和49年卒)

大分大学教育学部を卒業して、五十人以上が経ってしまいました。長いようで短く感じられる年月です。

大学を出て一年目は、中学校の理科の臨時講師として、半年ずつ二校勤務しました。この時は、若さに任せて、部活動に打ち込んで、毎日でした。二年目に正採用教員として、津久見の海辺の四浦東中学校に勤務しま



教師として最後の授業

に即するよう教材を組み立て直す自主編成を実践しました。その後、出身の大分市に異動し、自主編成に熱中し、同じ思いを持つ仲間と理科サークルを結成しました。

その活動が組合活動と結びつき、組合役員もするようになりました。

組合の支部副委員長の時、地元から教職員代表として出ていた市議が引退し、後任にと市議に推され、市議になりました。この時は、教育現場の方々と教育関係者をはじめ、いろんな方から熱くご支援を頂きました。

あれから、いつの間にか、七期二十八年も経ってしまい、今年二月に引退させて頂きました。この間には多くの人から支えられて来たことに、改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

同じころ、各地区では鶴崎踊大会に向けて練習会をしたり、仮装のための衣装づくりをしたりと忙しい。本番当日、子どもたちは昼間からおしろいや紅で化粧をされ、大人たちも夕刻に向けて仮装の支度を整えてゆく。歩行者天国になった道路は見物客であふれる。

平成三十年間の時の流れは激しく、世の中は大きく変わった。一家に一台だった車は一人一台の時代になって、朝夕道路を埋め尽くした。かつて大野川の運輸で栄えた河口の町「鶴崎」は、狭く使い勝手の悪い土地になって、なじみの商店も郊外に移転していった。鶴崎踊大会も参加企業

コロナ禍で途絶えていた本場鶴崎踊大会が、令和四年再開された。会場には香ばしいイカ焼きのにおいが漂い、りんど鈴、的あてゲームなどの露店が並ぶ。開会の時刻が近づくと、つれ、鶴の模様の衣装を着た保存会や仮装姿の人たちが集まってくる。久しぶりの光景だ。昭和五十年代、鶴崎の夏はにぎやかだった。七月になると毎週土曜日は商店街の夜市。七月二十



久しぶりの鶴崎踊

大分市鶴崎支部

園 部 民 代

(昭和45年卒)

日頃は太野川鶴崎河畔で花火大会。二十三日は加藤清正公を祭る法心寺の二十三夜祭。千灯明の薄暗い明りのもとに近隣からたくさんさんの参拝客が集まる。



本場鶴崎踊大会

令和六年、鶴崎踊は保存会創設百周年記念大会を迎えた。久しぶりに踊りの輪の中にまじると、鶴崎の町に、かつてのにぎやかな鶴崎踊が帰ってきたようで嬉しく、長い伝統のありがたさを改めてかみしめた。

少しでも若いうちに



由布市支部

丸 野 陽 子

(昭和50年卒)

退職とほぼ同時期に、子育ても四人の親の見送りも終わりました。以降は、少し我儘に優先順位をつけて生きることになりました。

最優先は夫との旅行です。細かい計画が不得手なので、もっぱらツアー旅行を楽しんでいます。一番のおすすめ地は中央アジアのウズベキスタンです。

ウズベクを旅行地を選んだのは、世界遺産検定一級の鈴木亮平さんがサマルカンドを勧めたこと、タシケントのナボイ劇場・日本兵墓地を訪れてみたかったからです。

青の都サマルカンドには、「青の広場」をはじめ、ため息が出るほど緻密できれいな青タイルモ

ザイクの歴史的建造物があふれていました。

タシケントのナボイ劇場は、大地震で街中が瓦礫と化した中、びくとせずに残り、避難場所となり感謝されたと言いました。説明板には、「劇場建設は先の大戦でソ連捕虜となった日本兵が尽力した。」と日本語でも書かれていました。近く

の墓地には、日本への帰国がかなわずに亡くなった方の墓があり、きれいに管理されていました。捕虜でありながら、労を惜しまず丁寧に劇場建設に従事した日本人。戦後努力して復興・発展を遂げた日本。ウズベクの



サマルカンドにて

人がそんな日本という国民と国に好感を持っていた場面は街で何度も遭遇しました。シルクロードのオアシス、ウズベキスタンには他にもヒヴァやブハラなど世界遺産の遺跡群が多数あり、もう一度訪れたい国です。何にしても、やりたいことは少しでも若いうちに始めることを皆さんにお勧めします。

絵を描いて五十年



中津市支部

外 園 雅 美

(昭和34年卒)

「おはようございます」と元気な声。絵手紙や水彩画教室が始まる。退職して二十九年目を迎えた。私の活動の主軸は、絵を描くこと、そして次に教えることである。所属する白日会の中央展への初出品から四十八年になる。描きたい風景を探し求め、作品に仕上げるまでの苦労は多い。研修会で受ける厳しい指導に、心がへこみそうになることもある。しかし納得できる作品に仕上がった時の喜びは大きい。これからの出品五十回を目ざして描き続けたい。私の勤務の大半は旧下毛郡だったので、山国川沿いの道を通った。四季折々に変化する景色の美しさに感動する日々。そ

して、『この風景を描き残しておきたい』という思いに駆られていった。退職と同時に、『描き残しておきたい山国川百景』の作品製作に取組んだ。

日々山野や川沿いを歩きまわった。'04年に百景を描き終えて画集として出版。絵画展をして、作品も多くの方々に見て頂いた。この取組みがきっかけで旧郵政省の依頼を受け、ふる里記念切手『青の洞門の春』『競秀峰の秋』の原画を製作。'99年二月に発売された。

また、東海テレビの、『ふるさと水紀行』という番組でも、秋のスケッチの様子や教え子たちと会話している場面、画集の中の作品も収録・放映



オランダ橋

